

ITU-R SG 7 会合(2024 年3月) 報告書(案)

1. 会合の名称

ITU-R Study Group 7(SG 7)
(科学業務に関する研究委員会)

2. 開催日程

2024 年3月 18 日(月)

3. 開催場所

ジュネーブ ITU 本部及びリモート会議

4. 会合の位置づけ、参加者及び入力文書

SG 7 会合は、WP 7A、WP 7B、WP 7C 及び WP 7D から上程された勧告案、報告案及び研究課題案の最終審議を行う場である。今研究会期では、Markus DREIS 氏(EUMETSAT)が SG 7 議長を務めている。

今回会合には、62 か国の主管庁、7 の国際機関等及び ITU 事務局から合計約 246 名が出席した。日本からは、表 1 に示す 15 名が出席した。

今回会合においては 8 件の入力文書 について審議が行われた。

表 2 に入力文書一覧に示す。

表 1 日本からの出席者(敬称略・順不同)

氏名		所属
1	作田 吉弘	総務省 総合通信基盤局電波部基幹・衛星移動通信課
2	青野 海豊	総務省 総合通信基盤局電波部基幹・衛星移動通信課
3	服部 恵二	在ジュネーブ国際機関日本政府代表部
4	横山 隆裕	一般社団法人電波産業会 研究開発本部
5	市川 麻里	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室
6	岩名 泰典	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室
7	廣谷 奈々美	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室
8	繁田 勉	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室
9	増田 宏一	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室(宇宙技術開発株式会社)
10	福原 好晴	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室(宇宙技術開発株式会社)
11	三留 隆宏	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室(スカパーJSAT 株式会社)
12	小池 貞利	三菱総合研究所
13	片山 麻衣子	ワシントンコア L.L.C.
14	地引 史子	ワシントンコア L.L.C.

5. 審議の内容

5.1 ラポータの任命

- ・ ラポータに Sarah Marie BRUNO 氏(米国)が任命された。

5.2 SG 7 副議長の任命

入力文書: 7/5(Rev.1)

- ・ 2023 年無線通信総会(RA-23)での決定事項として、RA-23 では各 SG 及び語彙調整委員会(CCV)、世界無線通信会議準備会合(CPM)、無線通信アドバイザーグループ(RAG)の議長のみを任命し、副議長の任命は各グループに委任されたことを受け、SG7 の副議長候補 11 名を含む ITU-R 各 SG 及び CCV の副議長候補のリスト(7/5(Rev.1))が紹介された。
 - ・ ウクライナから、RCC(ロシア)推薦の副議長候補(Anton STEPANOV 氏)の承認に対する反対意見が提出された。理由として以下が挙げられた。
 - ロシアによるウクライナの侵攻は明らかに国際連合憲章、国際法、ITU 憲章及び ITU の使命に反する。
 - ウクライナの電気通信インフラの破壊や電気通信主管庁の主権の侵害は著しく、同国の候補者が ITU の要職に就く権利はない。
 - ・ ベルギーが、オーストリア、キプロス、チェコ、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、アイルランド、ラトビア等 EU 諸国を代表しウクライナを支持した。また、オーストラリア、カナダ、ノルウェーも支持を表明した。
 - ・ ロシアは、政治的理由によりロシア人要職者候補を否定することはできないと反論した。理由として以下が挙げられた。
 - ITU-R における作業は、ITU 基本文書(憲章(CS)、条約(CV)、会議等総則(GR)等)及び ITU-R 決議 1-9 に基づき政治的動機を排して進めるべきである。
 - ロシアの候補者は PP 決議 208 の要件を満たす専門家であり、反対意見は全て政治的要因しか根拠がない。投票は行わずコンセンサスを目指すべきである。
 - ・ ベラルーシがロシアを支持した。ブラジル、ニカラグア、カザフスタン、キューバも政治的議論を持ち込むべきでないとして、現状の候補者全てを承認することを支持。
 - ・ ロシアはまた、ウクライナを支持するオーストラリアの発言に対し、同国から供与されたドローンでロシアに対する破壊行為が行われているとして、オーストラリア推薦の副議長候補(Kevin Michael KNIGHTS 氏)の承認に反対意見を唱えた。
 - ・ ウクライナから、議論を終了し投票を行う動議(motion)が提出された。ここで SG7 議長から、投票を避ける策としてオーストラリア、ロシアが副議長推薦を取り下げる意思があるかが確認されたが、いずれも取り下げなかった。
 - ・ 動議に対し支持と反対意見が一定数(支持 1 件、反対 2 件)が提出されたため、以下の手順で投票が行われた(GR No. 107 参照)。なお、反対意見が提出されていない残り 9 名の副議長候補者は投票によらず承認することで合意した。
- ① 動議(議論を終了し投票を行うこと)の指示／不支持に関する投票
挙手(パドル)による投票が行われ、結果は以下のとおりで動議が支持された。
投票総数 41 支持 35 不支持 6 棄権 7
- ② 反対意見が示されている候補者 2 名(オーストラリア、ロシア)の任命／非任命に関する投票

A. 投票方法

ITU 事務局から秘密投票が提案されたが、ロシアから、参加者からの秘密投票の提案がないとの指摘があった。国名カードを掲示する方法により確認したところ、5か国以上の秘密投票への支持があったことから、GR No.127に基づき秘密投票とすることとされた。

B. 投票結果

秘密投票が行われ、結果は以下のとおりでオーストラリアの候補は任命、ロシアの候補は非任命となった。

オーストラリア:

投票総数 49 無効票 0 棄権票 4 有効投票数 45 任命賛成 43 反対 2

ロシア:

投票総数 49 無効票 0 棄権票 5 有効投票数 44 任命賛成 9 反対 35

- 投票の手続きに関しロシアから異議(point of order)があった。主な論点と法務顧問からの説明は以下のとおりである。ロシアは投票手続きの有効性に疑義を呈し続け、本投票にも不参加とした。

	ロシアの主張	法務顧問の説明
投票を行うこと自体の有効性	ITU-R 決議 1-9 A.1.2.3 に基づき投票が認められているのはRAのみであり、SG で投票を行うことはできない。	上位規則である CS 第 3 条(No. 27)に加盟国の PP、世界会議、SG 会合での投票権についての規定がある。つまり SG で投票は可能。
投票を行う加盟国の資格	信任状を確認する必要があるのではないのか。	CV 第 31 条(No. 324~)に基づき、条約締結会議のみ外務大臣、元首又は政府主席等が署名した信任状の提出プロセスが必要となるが、通常の会合での参加資格承認は ITU フォーカルポイントを通じた参加登録(レジストレーション)により行われる。したがって SG の場合、信任状提出、確認は必要ない。
	分担金未納の加盟国には投票権がないが、本セッションに参加している加盟国に関し全て確認してあるのであれば、根拠の開示を要求する。	確認済みであり、資料を提供できる。投票権がある加盟国にのみパドルと投票用紙が渡されている。各国の投票権(未納状況)に関する情報は ITU ウェブサイト上にもある。

5.3 SG7 の構成と WP 議長の任命

入力文書: なし

- SG7 の構成については、前研究会期までと同様の以下 4 つの WP を設置することで合意した。
- 各 WP 議長については、各 SG7 議長から示された候補全員に対しロシアが反対した。いずれも、これまでにロシアからの要職候補者の任命に政治的理由から反対したことのある国家のものであるという理由による。解決策として、すべての議長候補を「議長代理(Acting Chair)」として任命することで合意した。SG7 議長から、それぞれを WP 議長代理とする期間は、今後の SG 7 会合にて正式に議長として任命できるまでとの説明があった。

表 2 SG 7 の構成と WP 議長代理

WP	検討案件	議長代理(Acting Chair)※
WP 7A	標準時及び標準周波数の通報	Joseph ACHKAR 氏(フランス)
WP 7B	宇宙無線アプリケーション	Catherine SHAM 氏(米国)
WP 7C	リモートセンシング	Bruno ESPINOSA 氏(ESA)
WP 7D	電波天文	Anastasios TZIOUMIS 氏(オーストラリア)

※SG 7 議長 DREIS 氏が議長を務めていた WP7C 以外は再任

5.4 2023 年無線通信総会(RA-23)の結果

入力文書: ITU-R 決議、7/7

- ・ RA-23 の結果として、ITU-R 決議 1 及び決議 2 などが改正されたことが簡単に紹介されたほか、RA-23 プレナリ議事録にも記録された「電波天文業務保護のためのラジオクワイエットゾーン(RQZ)に関する SG7 への指示(7/7)」が紹介された。RAにおいて RQZ のデータベースの構築、公表に関する新決議案を検討した結果、決議は作成せず SG7 に検討を指示することで合意したものである。本件は WP7D で審議し、その結果としての要請等は WP7D から BR に直接送付するため、SG7 では今後検討の必要がないことを確認して了解された。
- ・ イランから、RQZ に関する情報共有のテンプレートになるものを作成する試みであると理解するが、既存の RQZ を扱うのか、将来の計画も含かが明確にされていないとの意見が示された。SG7 議長から、この点も含め WP7D で検討するとの説明があった。

5.5 2023 年世界無線通信会議(WRC-23)の結果

入力文書: プレナリ議事録、7/6

- ・ WRC-23 プレナリ議事録に記録された、WRC-27 議題及び WRC-31 暫定議題の責任グループ及び寄与グループへの注意喚起(7/6の添付文書、共用・両立性検討に用いる前提、パラメータ、方法論等の設定に関するガイドライン)が紹介され、了解された。

5.6 第 1 回 2027 年世界無線通信会議準備会合(CPM27-1)の結果

入力文書: CA/270、7/8

- ・ CPM27-1 の結果(CA/270)及び SG7 議長による SG7 関連事項のまとめ(7/8)が紹介され、了解された。特に、WRC-27 議題下で行う共用・両立性検討に用いる技術・運用特性、保護基準の寄与グループからの提出期限については、「できるだけ早く、ただし遅くとも 2024 年 12 月 31 日まで(延長可能、ただし 2025 年 7 月 1 日まで。)」となったことに注意喚起があった。
- ・ イランから、延長可能となったのは「正当な理由がある」場合のみであることに注意すべきとの発言があった。

5.7 2023 年 10 月の SG7 の結果報告

入力文書： 7/2, 7/105(前研究会期)

- ・ 研究会期から持ち越された文書リスト(7/2)及び前回 SG7 会合(2023 年 10 月)のサマリーレコード(7/105)は特段の議論なく了知された。

5.8 2019～2023 年研究会期から持ち越された作業

入力文書： 7/4

- ・ 決議 731(WRC-23、改)(71 GHz 超の能動業務と受動業務間の共用・両立性検討)の改正に伴い SG 1、SG 5、SG 7 間の分掌について連絡する文書(7/4)は特段の議論なく了知された。

5.9 SG7 下の WP に割り当てられた研究課題、勧告、報告、ハンドブック等のステータス

入力文書： 7/1(Rev,3)

- ・ SG7 下の WP に割り当てられた研究課題、勧告、報告、ハンドブック等のステータス(7/1)は特段の議論なく了知された。

5.10 他の ITU 部門、研究委員会及び国際機関からの連絡

入力文書： 7/3

- ・ ITU-T SG5(環境、気候変動、循環経済)から TSAG への持続可能なデジタルトランスフォーメーションに関するリエゾン文書(7/3、SG7 には情報として送付)は質疑、コメントなく了知された。

5.11 作業プログラムと暫定会合スケジュール

- ・ 2024 年の SG7 関連会合、イベントの開催予定は以下のとおり。

会合／イベント	日程	場所
WMO-ITU Seminar “Use of Radio Spectrum for Meteorology”	2024 年 9 月 16、17 日	カザフスタン (アルマティ)
ITU workshop on Radioastronomy	2024 年 9 月 16 日	
WP 7B、7C 会合	2024 年 9 月 18～27 日	
WP 7A 会合	2024 年 9 月 16～20 日	
WP 7D 会合	2024 年 9 月 17～26 日	

- ・ 2025 年 SG7 関連会合の暫定日程は 2025 年 4 月 7～17 日及び 2025 年 9 月 15～26 日。

表 2 入力文書一覧

文書番号 7/**	提出元	題目
1(Rev.3)	SG 7 議長	Assignment of texts to the Study Group 7 Sub-Groups
2	SG 7	Documents to be carried over from the 2019-2023 study period
3	ITU-T SG5	Liaison statement on the activities and studies on sustainable digital transformation
4	SG 1, 5, 7 議長	Studies under Resolution 731 (WRC-23) - Consideration of sharing and adjacent-band compatibility between passive and active services above 71 GHz
5(Rev.1)	BR 局長	List of proposed Vice-Chairs of the Radiocommunication Study Groups and the CCV
6	BR 局長	Text from WRC-23 Plenary for the attention of the ITU-R Working Parties that are either responsible for or contributing to studies relevant to items of the WRC-27 agenda or the WRC-31 preliminary agenda
7	BR 局長	Text from the Radiocommunication Assembly 2023 Plenary minutes on radio quiet zones
8	SG 7 議長	Relevant information from CPM27-1 in preparation for WRC-27
9	BR Study Groups Department	List of documents issued (Documents 7/1 - 7/9)
10	BR 局長	Final list of participants - SG 7 (Geneva, 18 March 2024)
11	SG 7 議長	Summary Report of actions taken during the meeting of Radiocommunication Study Group 7 (Geneva, 18 March 2024)